



# いちばけんがく

実施日：令和6年11月14日

対象児：5歳児



## 塩釜魚市場の歴史

塩釜港は、奈良時代に多賀城国府の隣接港として栄えたとの記録があります。江戸時代に入ってから、伊達家の保護もあり、仙台の外港として水産物の水揚げが活発となりました。明治時代からは、漁港整備や鉄道開通により水産物の取引が活発化し、現在の発展に繋がったと言われています。



市場のお仕事を見学してきました。入ってすぐに大きなメバチマグロの解体が行われていて、様子を見せてもらいました。大きなマグロと、使い分けで切る5本の包丁、しっかりとした尾びれ、初めてみるマグロや道具にととても驚いていた子ども達です。「すごい」「包丁おおい」と大興奮でした。子ども達は2グループに分かれてイカ、生きている毛ガニ、伊勢海老を購入しました。よく観察し、翌日絵の具で絵画活動をします。市場の方には、タコの口は2つがあること、エビは青い卵、働く人は暗い明け方3時頃から仕事をしお昼には仕事が終わることなど、沢山の話を聞くことができました。その後、お魚ミュージアムに行き、せりの場所を見ました。海の生き物が食卓に並ぶまでに、市場の方や調理する方の仕事を知ることができたと思います。昼食は、回転ずしを食べ海の魚を堪能しました。園長 小川

## Menu

### 回転ずし

まぐろ、たこ、えび、いか、サーモン、たまご 納豆巻き など

### 飲み物

オレンジジュース

デザート（ケーキ）

ケーキ、アイス、わらびもち など

くら寿司

